

企業活力

1. 販路開拓事業を通じた復興（自立）支援とビジネスチャンスの創出
2. ビジネスパートナー発掘・人脈拡大支援
3. 伴走型支援による経営力強化の推進
4. 創業・経営改革支援
5. 地元中小企業への雇用支援
6. 企業・地域の成長・発展を支える人材（財）の育成支援
7. 経営環境の改善

地域力

1. 戦略的なインバウンド拡大
2. 地域の発信力強化
3. 文化・観光力の強化・促進と広域観光の推進
4. 東北の顔、賑わいの中心としての商店街振興
5. 産学官連携による地域ものづくり力の強化
6. 世界に開かれた仙台の都市力向上
7. 地域間ネットワーク強化による東北全体の活力向上

組織力

1. 政策提言（要望）活動の強化
2. 信頼される地域総合経済団体としての会員組織・財政基盤の強化
3. 多様な参画による機能と事務活動の強化
4. 商工会議所としての発信力強化とサービスの利用促進
5. 事務局職員の資質向上



仙台商工会議所 平成29年度事業計画 《概要版》

平成29年度の方向性

H28 1年目	H29 2年目	H30 3年目
------------	------------	------------

震災から6年が経過し、国で位置づける「復興・創生期間（平成28～32年度）」において、当所「中期ビジョン」の3つの「力」を柱に、日本商工会議所をはじめとした関係機関との連携により、『東北一体』となった地方創生のモデルとなる復興を実現するべく事業推進を図ります。特に、「販路回復・開拓」「風評被害払拭・風化防止並びに交流人口の拡大」「地域中小企業の成長・持続的発展、雇用対策」の各種支援事業を実施します。

企業活力

- 1. 地方創生のモデルとして復興をけん引する販路回復・開拓事業の展開**
 - ①「伊達な商談会」による販路回復・開拓**
高い成約率を誇る仙台モデル「伊達な商談会」や商談後のコーディネーターの専門的フォローアップアドバイス、テーマ別セミナーによる商品開発力・販売力強化・人材育成等、復興期間後も東北の地にノウハウが残るよう関係機関と連携した広域的な支援事業を実施。
 - ②三陸ブランド構築等による海外向け販路開拓**
東北被災地域合同による「東北復興水産加工品展示・商談会2017」（6月6日・7日）、三陸地域水産加工業等振興推進協議会を通じた、世界に誇る『三陸ブランド』の構築と普及啓発、中小企業の海外向け販路開拓などによる新たな取引先の創出を支援。
 - ③人脈形成による商機拡大**
テーマ別・階層別・業種別「会員ビジネス交流会」の積極開催ほか、8,700会員のスケールメリットを生かし、新たな人脈形成やビジネスパートナー発掘機会の創出を支援。
- 2. 地域企業に寄り添った伴走型経営支援の実施**
 - ①事業者ニーズに応じた経営支援**（創業・事業承継、第二創業、経営改善・経営革新計画の策定支援）
事業所のあらゆるライフサイクルやニーズに応じた経営支援を実施。行政による各種補助メニューの活用促進を通じ域内事業所の経営体質強化を支援。
 - ②伴走型支援**
当所「経営発達支援計画」に基づく、小規模事業者の持続発展的な経営に向けた経営状況分析や事業計画策定、販路開拓支援などの伴走型支援を、当所経営指導員並びに各分野の専門家や他の支援機関との連携により実施。
 - ③資金調達サポート**
小規模事業者向け「マル経」融資制度（限度額2,000万円）や「小規模事業者経営発達支援資金」（限度額7,200万円）など、地元・政府系金融機関との連携により資金繰り相談等経営改善を支援。
 - ④消費税軽減税率対策**
H31年10月予定の消費税率引き上げ時の円滑な転嫁対策や軽減税率の導入等に関する普及啓発と専門家による窓口相談の実施。
- 3. 慢性化する人材不足解消に向けた地元中小企業の経営革新・雇用対策支援**
 - ①地方創生の醸成に繋がる地元企業への就職支援**
企業の人事担当者や大学等の就職指導担当者による「情報交換会」や、学生と地元企業の交流会等を開催し、地元企業への理解促進を図り、厳しい地元企業の若年労働者確保を支援。併せて、学生の県外流出縮小、U・I・Jターンの促進に貢献。
 - ②ダイバーシティ経営（多様な人材活用の推進）の普及と人材育成**
若者や女性、高齢者、外国人など多様な人材活用や能力開発を促す階層・職種別のセミナーを開催。ビジネス実務に直結する簿記・ビジネスマネジャーなどの検定試験を実施し、従業員等のスキル向上を支援。「ジョブ・カード制度」活用による採用並びにミスマッチの解消・育成を支援。
 - ③AIやIoT技術を活用した生産性向上支援**
AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）など、近未来技術関連の情報提供や視察会実施など地域ものづくり企業への生産性向上を支援。
 - ④「会議所共済あおば」リニューアルで中小企業健康経営を支援**
「会議所共済」により、企業様々「経営リスク」（賠償責任・労災・連鎖倒産など）をサポート。「生命共済あおば」を生存給付充実保障へリニューアルし、従業員の健康推進により安定雇用を支援。

地域力

- 4. 仙台の都市力向上と東北一体となった広域観光の推進**
 - ①ツーウェイツーリズムの実践**
イン・アウト双方向での交流人口拡大を目指し、仙台七夕まつりや仙台初売り、プロスポーツチームをはじめとした仙台固有の魅力を生かした事業展開や、国際会議・学会（MICE）等を通じた情報発信により、リピーター獲得に努める。あわせて域内住民のパスポート取得率向上や海外教育研修旅行の促進などにより、アウトバウンド拡大を支援。
 - ②仙台空港・仙台国際貿易港の機能強化**
東北におけるグローバル・ゲートウェイとしての仙台空港の機能強化を図るため、仙台空港運営会社および関係機関との連携・協力により、新規定期路線開設、東北各地とのアクセス強化などによって、東北一体となった仙台空港の利活用を推進。仙台国際貿易港のコンテナヤード拡張整備等による利活用拡大を推進。
 - ③鎮魂と復興の思いをつなげる「東北絆まつり」の仙台開催**
東北六魂祭後継イベント「東北絆まつり（6月10日・11日）」の開催や、国内外のプロモーション活動を通じて、東北の県庁所在地の市・祭り・商工会議所が一体となった広域観光を推進し、交流人口の拡大を図る。
 - ④藩祖伊達政宗公生誕450年・伊達文化の活用**
伊達政宗公生誕450年の機会を捉えて、シンボルマーク活用によるシティセールス強化に官民一体となって取り組む。伊達文化や仙台の礎を築いた藩祖政宗公の偉業を学ぶシンポジウム開催等を通じて、仙台城の復元整備促進に向けた検討ならびに青葉山エリアの将来に向けた整備に生かす。
 - ⑤震災による風評払拭**
日本商工会議所や関係機関と連携し、国内外に対し、農水産物等の安全性や正確な放射線量の情報を発信するとともに、震災以降継続実施している訪韓ミッションや2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、あらゆる機会を捉えながら風評払拭に努める。
- 5. 地域づくり・街づくりの推進**
 - ①商店街活性化支援**
中心市街地のエリアマネジメントを行う仙台市中心部商店街活性化協議会等への参画、地域コミュニティと防災・防犯の担い手である商店街への巡回・活性化支援事業等を通じ、各地域の個性を生かした魅力あふれるエリア形成を支援。
 - ②都心まちづくりの推進**
学生の多いまちの特徴を生かして、市立病院跡地への学術交流拠点の整備推進を図るなど、将来に向けた仙台の都市力向上を目指し、大学・専門学校・商店街・産業界・地域住民・行政との対話や連携を強化した、新たなまちづくりを推進するとともに、回遊性を拡大。

組織力

- 6. 地域総合経済団体としての政策提言・要望活動の展開**
 - ①政策提言・要望活動**
地方創生にむけた中小企業振興・地域経済活性化並びに経済活動の基盤となる空港、港湾、道路、鉄道、通信網などの整備・機能拡充・利用促進及び産業・技術の集積に寄与する国際リニアコライダー（ILC）や放射光施設等に関する要望を実施。
 - ②着実な復興**
復興・創生期間における被災地の現場に即した形での諸施策実現のための要望を実施。宮城復興局ほか関係機関との緊密な連携・情報収集。
- 7. 組織強化と財政基盤強化、会員ニーズを反映した事業の展開**
 - ①会員増強**
10,000会員の達成に向け全組織（役員・議員・職員）が一体となった会員増強の実施。
 - ②会員満足度向上**
全職員による継続的な会員訪問を通じ会員ニーズを把握し、効果的なサービス事業の充実により、会員満足度の向上を図る。月報「飛翔」やホームページ・SNS等を活用した会員・地域社会に対する情報発信力を強化し、商工会議所への理解増進に努める。
 - ③多様なステークホルダーによる組織運営**
役員・議員、若手経営者・女性経営者等の参画による活発な組織運営。

《29年度を取り巻く環境》

【仙台市】

- 仙台経済成長デザイン
 - ・新規開業率日本一
 - ・年間観光客入込数2,300万人
 - ・累積新規雇用10万人
 - ・年間農業販売額100億円
- 中小企業活性化センターの新設
- 定禅寺通活性化室の新設

【宮城県】

- 震災復興計画「再生期」（平成26年度～29年度）
- 広域防災拠点整備
- 被災中小企業復旧支援
- 外国人観光客誘致（アジアプロモーション課の新設）
- オリンピック・パラリンピック大会推進室の新設

〔29年度「仙台圏・宮城関連」の動き〕 ○米国大型クルーズ船「セレブリティ・ミレニアム」仙台港寄港（4/29） ○全国高等学校総合体育大会（南東北インターハイ）（7/28～8/20） ○全国高等学校総合文化祭（7/31～8/4）
○仙台駅東口にホテルメトロポリタン仙台イースト開業予定（6/19） ○伊達政宗公生誕450年（8/3） ○第11回全国和牛能力共進会（9/7～11） ○「世界防災フォーラム／防災タボス会議@仙台2017」（11/25～27） ○東北大学雨宮キャンパス内「農学部」が青葉山新キャンパスへ移転
○NHK仙台放送局 移転・運用開始予定 ○ピーチ・アビエーション仙台空港拠点化 ○三陸沿岸道路「南三陸道路（志津川IC～歌津IC（仮）」）開通予定（3月）